



～農業振興を通じて地域社会へ貢献～



7月2日に雨竜町で、「暑寒メロン」の初出荷が行われました！
初出荷を行ったのは、谷本貴志さん（中央）です♪

→記事の詳細は2～3ページ

JAきたそらちでは、ホームページ/Facebook/
Instagram/YouTubeで、魅力満載の情報を
発信中です！ぜひ、ご覧ください！



ホームページ



YouTube



Facebook



Instagram



JA HITASORACHI

～ 今月のヘッドライン ～

- 各地で特産メロンの出荷開始！…………… 2～3
- 北竜町の小学校などにスイカとメロンを贈呈！… 4
- 新規就農者へ激励状を贈呈 …………… 8
- 青年部女性部との懇談会 …………… 12
- 空知管内JA野球大会 優勝 …………… 15

メロン出荷開始！

北竜ひまわりメロン



「毎年美味しいメロンを消費者に食べてもらいたいと思いながら活動を行っている」と笑顔で話す渡邊さん(前列右から2番目)

6月18日、北竜町の特産「北竜ひまわりメロン」が初出荷された。この日は、北竜メロン生産組合(山田敏光組合長)の渡邊靖範さんが、152ケース(1ケース4玉〜6玉入り)を出荷した。

今年は、定植後の天候が良く順調に生育し、昨年より5日早い初出荷となった。寒暖差が十分にあったためこの日出荷したメロンの糖度は18度と、とても甘く最高の仕上がりとなった。



渡邊さんは、「近々当組合は設立から50年を迎える。先代から学んだ技術や組合の歴史などを次の世代にどのように繋いでいくか今後の営農活動を通して考えていきたい」と笑顔で話す。

また、山田組合長は「北竜ひまわりメロン」は丸い見た目と香りそして味が売りのメロンなので、消費者にも楽しんでもらいたい」と話す。

「北竜ひまわりメロン」は同生産組合の20戸が約378aで栽培し、今年は1万5000ケースの出荷、8100万円の売り上げを目指す。出荷のピークは7月中旬ごろから始まる。

【営農企画課 戸島】

北斗メロン



「今年は着果時期の管理に苦労したが病害虫の発生は比較的少なく、品質の良いメロンを収穫できた」と話す橋本会長(左から2番目)

6月28日、JAきたそらち青果部野菜集出荷施設(深川市)で、豊潤な甘みが特徴の赤肉メロン「北斗メロン」の出荷が始まった。この日は、北斗メロン生産協議会の橋本健会長が、計20ケース(1ケース4玉〜5玉入り)を持ち込んだ。この日の糖度検査では糖度18度と甘さ充分のメロンを出荷した。

橋本会長は「昼夜の寒暖差にも恵まれ、甘みが乗った自信作。ぜひ、旬の北斗メロンを多くの皆様に味わっていただきたい」と笑顔で話す。



翌29日には、旭川市の(株)キョクイチで初せりがあり、1ケース(秀5玉入り)が10万円で取引された。「北斗メロン」は、同協議会が約2haに作付けしており、7月中旬から下旬をピークに秋まで出荷が続く。今年は6000ケースを出荷し、3000万円の売り上げを見込む。同メロンは、深川市道の駅「ライズランドふかがわ」内の当JA農産物直売所「ecir」などで販売される。

【青果課 川本】

雨竜暑寒メロン



7月2日、雨竜町の特産、青肉メロン「暑寒メロン」が初出荷された。この日は雨竜町メロン部会（林伸昌部会長）の谷本貴志さんが、計6ケース（5玉入り2ケース・4玉入り4ケース）を運び入れた。

この日、同部会員により行われた糖度検査では、糖度17度と甘み十分で出荷基準の14度より高い数値を出した。また検査後は、同部会員がメロンを1つつ手に取り格付けし、出荷された全てのケースに最も高い等級の「秀」を付けた。



「雲天、雨天が続きメロンの生育状況に影響が出るか心配していたが、出荷前の気温の上昇で玉が大きくなり、糖度も乗ったものができた」と笑顔で話す谷本さん（中央）



谷本さんは「先代から40年以上受け継がれている技術は厳しい面も多いが、美味しいメロンを少しでも多くの消費者に食べてもらうことに喜びを感じているので、1年でも長く続けていきたい」と笑顔で話す。

香りが良く糖度の高さが特徴の「暑寒メロン」は、同部会の14戸が約2・1haで栽培しており、今年は7700ケースの出荷、3800万円の売上げを見込む。出荷は7月下旬から、8月上旬にピークを迎え、8月中旬まで続く。

【営農企画課 戸島】

TOPIC

7/14

『故郷の思い出として』
小学校などに
「暑寒メロン」寄贈

雨竜町メロン部会が同町の小学校と中学校へ「暑寒メロン」23玉を寄贈した。この寄贈は、地元の特産品を子どもたちに味わってもらうことを目的に同部会が毎年続けている。

この日は、林伸昌部会長と安田雅嗣副部会長が同小・中学校を訪れ小学校と中学校の児童会長に「暑寒メロン」を寄贈した。両児童会長は感謝の言葉を述べ、暑寒メロンを受け取った。小・



小学生と中学生の児童会長にメロンを渡す林部会長（左）と安田副部会長（右）

中学校では、21日に給食として生徒達に振る舞われる。

林部会長は「暑寒メロンは地元の特産品なので、子ども達が大人になって故郷の雨竜町に戻った時に、なつかしく思い出してもらえたらうれしく思う」と笑顔で話す。

また同日、同部会は同町の養護学校や保育園にも訪問し、養護学校に26玉、保育園に8玉を寄贈した。



保育園児代表二人にメロンを渡す林部会長（左）

【営農企画課 戸島】





北竜町の小学校などに青果物を贈呈！



6/26

「スイカを食べる習慣を」小学校などに
「ひまわりすいか」贈呈



ひまわりすいか生産組合（高田秋光組合長）が北竜町立真竜小学校へ『ひまわりすいか』4玉入り3箱の贈呈を行った。この贈呈は地元の特産品を子どもたちに味わってもらうことを目的に毎年行われている。

この日は、高田組合長と佐藤孝介副組合長が同小学校を訪れ、「美味しく食べてください」と児童に直接手渡した。



受け取っ

た児童は「今日はスイカをいただきありがとうございます。このスイカはみんな

仲良く分けて美味しくいただきます」と感謝の言葉を述べた。今回贈呈したスイカは当日全校生徒の給食で振舞われた。

高田組合長は「地元で採れたスイカが一番いい時期に子どもたちに食べて欲しいと思っている。大人になっても習慣としてスイカを食べてもらえたらと思う」と笑顔で話す。

また、同町の保育園・中学校・特別養護老人ホームにもひまわりすいかを贈呈した。

【営農企画課 戸島】



7/17

「北竜メロン生産組合 小学校などに
「北竜ひまわりメロン」を贈呈



北竜メロン生産組合（山田敏光組合長）が北竜町立真竜小学校へ『北竜ひまわりメロン』5玉入り3ケースを贈呈した。この贈呈は地元の特産品を子どもたちに味わってもらうことを目的に毎年行われている。

この日は、山田組合長が小学校を訪れ「美味しくいただいてください」と同小学校の児童たちに手渡した。



受け取っ

た児童は「今日は美味しいメロンをいただきありがとうございます。このメロン

は、全校生徒のみんなで美味しくいただきます」と感謝の言葉を述べた。

山田組合長は「北竜町の特産品にはメロンがあるということを子どもたちに知ってもらいたい。そして、今日贈呈したメロンを美味しく食べて頂きたい」と笑顔で話す。

贈呈されたメロンは、同日の学校給食で振舞われた。また、同町立北竜中学校にも贈呈を行った。

【営農企画課 戸島】





**組合員の集い
各地区で開催**

「組合員の集い」が今年も各地区で開催された。抽選会や青年部による出店など、会場は終始賑やかな雰囲気にもまれ、参加した組合員は忙しい農作業の合間に家族や仲間と楽しいひとときを過ごした。

深川支所
音江地区 7/7



深川支所
多度志地区 7/8



深川支所
メム地区 7/9



雨竜支所 7/9



深川支所
一已地区 7/10



北竜支所 7/14



きたそらちレポート

6/23

幌加内地区、そばの播種が本格的にスタート

幌加内地区では6月中旬から下旬にかけてそばの播種作業が本格的に始まった。

今年度は天候が安定しない中、適期播種を目指し、生産者は天候や圃場状況を見極め、今年度の豊かな実りを願いながら広大な圃場で播種作業を行った。幌加内町の基幹作物である「そば」はこれから生育期間を迎える。



JAきたそらち幌加内支所では、生産者の皆さまと連携しながら、高品質な幌加内そばの安定生産に向け栽培管理や営農指導に取り組んでいます。

【幌加内支所 宮田】

7/13

令和8年産小麦
初刈取・初出荷

7月13日から管内で小麦の刈取作業が開始され、同日に初出荷も行われた。

今年度の小麦の作付けは全地区合わせて約1360haあり、品種は「きたほなみ」、「北見95号」、「ゆめちから」、「春よ恋」の4品種。なかでも全体の約8割を占めている「きたほなみ」の刈取作業の様子が多くみられた。



今年は、気温が30度を超える日が少なく良好な生育である。また、「北見95号」の作付けは前年度より増加しており、来年度には小麦作付面積の約半分になる予定。
今年度産小麦の全品種が豊作になることを願う。

【農産課 長場】



6/1・6/26

JAボランティア花菜
「役場前花壇」で
花植え作業を行う

6月1日と26日の2日に渡り、今年もJAボランティア花菜が幌加内町役場前花壇の花植え作業を行った。地域の景観美化を目的に行っている本活動は8年目を迎え、会員7人が参加した。直播作業・花苗の移植作業ではナス・タチウモやブルーサルビアなど約8種類にも及ぶ品種を植え付けた。



色とりどりの花が幌加内町役場の玄関口を彩るよう、会員が協力しながら丁寧に植え付けを進めた。

今後は約5か月間に渡り、中耕除草や花がら摘みなどの管理作業を継続し、秋の片付けまで花壇の維持管理を行う。地域住民や来町者の皆さまに楽しんでいただける美しい花壇づくりを目指し、今後も活動が続いていく。

【幌加内支所 宮田】

7/13

北育ち元気村花き生産組合
毎年恒例の「生花リレー」
で癒しを届ける

北育ち元気村花き生産組合（内藤敬人組合長）は毎年恒例となっている「生花リレー」を行った。

この生花リレーは市民・町民の方々の癒しになればという生産組合の想いから、令和2年よりスタートし、今年で7回目を迎える。内藤組合長と生産者の2人が、北空知管内で栽培されたダリアやひまわり、スターチスなどの花を用いてフラワーアレンジメントを前日に作成し、『北空知の花はひとつ』を合言葉に各市町村役場等、計8か所へ寄贈した。



この日、当JA本所でフラワーアレンジメントを受け取った当JAの岩田清正組合長は「毎年素晴らしい花の贈呈をありがとうございます。本所に訪れる組合員さんの気持ちも明るくなる素晴らしい取り組みです」と感謝を述べた。

内藤組合長は「訪れた人が花を見て元気になってくれたらと思う。また、北空知の花きの生産が全道一位ということも地元の人に知っていただきたい」と語る。

【営農企画課 戸島】

令和8年度 新規就農者激励状贈呈式

令和8年度「新規就農者激励状贈呈式」が当JA本所で開催され、新規参入やリターン、新規学卒など本年度の新規就農者18人のうち6人が出席した。

贈呈式は、JA理事会の席上にて開催され、役職員が見守るなか、岩田組合長より一人ひとりに激励状が手渡された。岩田組合長は「新規就農者の方々は地域の宝として、今後の農業に励んでいただきたいと思います。皆さまの活躍を期待しております」と激励の言葉を贈った。



※出席者（敬称略）

左前列から1番目：岩田組合長 2番目：千代崎太樹
3番目：千代崎好帆 4番目：田丸専務
左後列から1番目：橋本亮大 2番目：大栗拓也
3番目：藤 大輔 4番目：福井啓太

また出席者を代表し、橋本亮大氏（五十川弘之、一已地区）が「JAの皆さまや地域の農業者の皆さまの支えのおかげで、少しずつ農業に慣れてきました。私たち、新規就農者は、ただいま頂戴しました組合長のお言葉を胸に、日々成長して参りたいと思います」と力強く決意表明した。

なお、令和8年度の新規就農者激励状対象者は表のとおり。

地 区	氏 名	地 区	氏 名
一 已	松田 勝汰	× ム	田中 佑汰
	大西 耕平		内田 賢宏
	正田 溪太	多 度 志	岡田 文太
	安藤 開	雨 竜	千代崎太樹
	新木 直己		千代崎好帆
	橋本 亮大		井埜 克哉
音 江	佐々木潤成	北 竜	今野 峡
	福井 啓太		今野 紗圭
	大栗 拓也		藤 大輔
× ム			

【営農企画課 戸島】

深川市新規就農支援会議主催 深川未来ファームと深川市指導農 業士・農業士会との交流会開催

深川市内で、（株）深川未来ファームと深川市指導農業士・農業士会との交流会が開催され、30人が参加した。

この取り組みは、（株）深川未来ファームの研修生に、深川市農業への理解促進を図ることを目的に深川市指導農業士・農業士会の提案により、令和3年から実施している。



当日は多度志地区の（株）TAK E U C H I f a r mと農事組合法人ユニテッドの圃場を見学し、その後アグリ工房まあぶで交流会が行われた。



圃場見学においては2法人とも（株）深川未来ファームの元研修生が就農及び研修をしており、研修生は将来の自分の姿を想像しながら、興味深く話に耳を傾けていた。

交流会ではそれぞれのテーブルで、農作業の進捗状況や就農に向けた質問などを話しながら懇親を深めた。

主催した中西秀幸会長は「地域の農業者が減少する中で、農業をやりたいとこの地域を選んで頂いた研修生には是非、深川市に農業者として定住して欲しいと期待をしている。指導農業士・農業士会としても様々な面でサポートしていきたい」と話した。

【農業振興部 後藤】

ホクレン畜産研修会& 交流会を開催

当JA主催によるホクレン畜産研修会が当JA本所で開催された。ふかがわ肉牛組合（横井優司組合長の会員やホクレン農業協同組合連合会担当職員、JA役職員など関係者約25名が出席した。

研修会では冒頭に当JAの田丸利博専務より挨拶があり、「昨今の牛の市況等について」と題しホクレン本所・旭川支所・稚内支所・帯広支所の担当職員よりそれぞれ出荷動向や販売動向、各市場での取引状況などを説明した。



その後、出席した会員から現場サイドの状況や今後の出荷・販売における展望などの質疑及び意見交換を行った。

また、研修会終了後には「アグリ工房まあぶ」にて交流会が開催され、当地区で生産された深川牛の焼肉を味わいながら豪華景品を懸けたミニゲームで盛り上がりそれぞれ交流を深めた。

【畜産課 内村】

帯広でJAきたそらち 農産物をPR

帯広市ばんえい競馬場で農産物PRイベントを開催し、きたそらち産農産物の魅力を広く発信した。

ブースでは、お米のデジタル紙芝居を上映。視聴後にはクイズを実施し、子どもから大人まで多くの来場者が楽しみながら農業への理解を深め、食と農への関心を高めていた。



また、花きの無料配布を行い、きたそらち産スターチス・シヌアータの魅力をPRしたほか、JAきたそらち公式Instagramをフォローした方を対象に、幌加内そばが当たるガラポン抽選会を開催した。

多くの来場者がブースを訪れ農産物や農業の魅力を広く発信する機会となった。

【営農企画課 高桑】

「ライスランドふかがわ」 誕生祭開催！

深川市道の駅「ライスランドふかがわ」で『大誕生祭』が開催された。同道の駅内の当JA農産直売所「e CIR（えしる）」では、旬を迎えた当JA産のスイカ（ひまわりすいか・マダーボール）を特価で販売。メロンを含む青果物やお米も店頭に並び、開店直後から大勢の来店客が店内に溢れ、終日にぎわいを見せた。



同道の駅野外会場で行われたふかがわまい生産組合の「ふっくりんこ」すくい取りでも、客足が途絶えない様子であった。結果、用意されたお米130kgが半日で販売終了となった。他にも、同イベントに合わせ各テナントでそれぞれの人気商品が特価や限定で販売され、大好評のイベントとなった。

また同日、深川市のアグリ工房まあぶ特設会場で『まあぶフェスタ』が開催され、当JA多度志農産物加工部会による「笹団子」や深川市果樹協会による「さくらんぼ」などの販売も行われた。

【営農企画課 戸島】



JAきたそらち女性大学 カレッジあみていえ6期生 第2講「米袋エコバッグ作り& 夏野菜料理講習会」開催

JAきたそらち女性大学カレッジあみていえ6期生の第2講が開催され、18人が出席した。

前半は、北竜町の後藤友子氏を講師に迎え、米の紙袋を使用したエコバッグ作りを行った。米の紙袋は頑丈で濡れにも強いので、買い物や家庭菜園の野菜収穫など多様な場面で使うことが出来る。好みの高さになるように紙袋をカットし、穴を開けたら手持ち用の紐を通して完成。ハギレ布でポケットや飾りをつけてオリジナルのエコバッグを作ることが出来た。



後半は夏野菜を大量に消費することが出来る料理を学んだ。講師は当JA農業振興部営農企画課の高桑主査が務め、「きゅうりのワサビ漬け」「春巻き」「キーマカレー」をグループに分かれて作った。きたそらち産の野菜を使用し、完成後は全員で実食した。参加者たちは「きゅうりのワサビ漬けは暑い夏にぴったりな味付けで簡単に作れるので、家でも作りたいと思う」と話した。

【営農企画課 石野】



「北育ち元氣塾」 視察研修 開催

「北育ち元氣塾」令和8年度視察研修が開催され、塾生14人が出席した。

1日目は岩見沢市栗沢で乾田直播を行っている椎名俊文氏の圃場を視察し、乾田直播と移植の作業時間の比較や、他作物との輪作計画について話を聞いた。塾生たちは乾田直播を始めたきっかけや輪作について積極的に質問していた。

次に訪れた中央農業試験場岩見沢試験地では、直播・移植どちらにも向いている新品種「空育198号」の説明を受け、様々な品種の試験を行っている圃場を見学した。



2日目は当別町中小屋の合同会社四季農場にて、代表である岩中和則氏より一年を通して栽培しているカラーのハウス、稲の温床後に播種するひまわりの栽培ハウス、露地ひまわりの圃場を見学した。栽培環境や灌水方法、播種の時期などを丁寧に教えていただき、塾生にとって充実した時間となった。岩中氏は「花もは無くてもならない北海道の作物。自分の経営状態に合った花を選んで、まずはチャレンジしてほしい」と話した。

【営農企画課 石野】

「北育ち元氣塾」 第4回研修会 開催

「北育ち元氣塾」の第4回研修会が開催され、塾生10人が出席した。

「病害虫の基礎Ⅱ」として開催された今回の研修会は、初めに普及センター北空知支所職員が害虫による被害と症状を写真付きで解説した。防除の中でも「防除をしなくてはならない基準」となる要防除水準の例や、農薬の連用にかかるローテーション防除について学習した。

次に北海道農業士である北竜町の橋本哲氏の水田やその周辺で、病害虫の一つであるカメムシのすくい取り調査を行った。



最後に、橋本氏より「我が家の経営計画」として、これまでの経験やネットワークが圏外となる中山間地での農業についてお話しいただいた。橋本氏は「毎年条件が変わるため、経験値は毒にも薬にもなる。試したいことは一年の中でどんどん試すことが大切だと思います」と話した。

【営農企画課 石野】

価格だけでは選ばれない時代へ・青年部・女性部とJA役員が意見交換・

青年部・女性部と常勤役員との懇談会をJA本所で開き、両部の役員とJA常勤役員がこれからのJAの役割について意見を交わした。

今年の懇談会でも昨年同様、事前アンケートを実施。「JAを利用する理由」「JAへ期待すること」「これからのJAに必要なもの」など5つの項目について意見を集約し、その結果を基に意見交換を行った。

アンケートでは、「安定して生産できること」や「手続きのしやすさ」がJAを利用する理由として多く挙げられた一方、「情報提供の迅速化」「担当職員との信頼関係」「営農相談・提案力」など、価格だけではなくJAの役割への期待も多く寄せられた。



懇談会では、「JAを利用することが当たり前ではない時代の中で、JAだからこそ提供できる価値とは何か」を中心に、青年部・女性部から率直な意見が出され、それに対し常勤役員は、共同購入による資材価格の低減や営農指導体制の充実、組合員との対話を重視した巡回活動の強化、若手職員の育成など、今後の方向性を示した。また、人と人とのつながりを大切にしながら、デジタル技術も積極的に活用し、「選ばれるJA」を目指していく考えを共有した。

【営農企画課 松本】

令和8年度
JAきたそらち地域農業
応援団結団式開催

令和2年度よりJAと准組合員及び地域住民との交流の場として取り組んでいる「JAきたそらち地域農業応援団」へ、本年度は14人が入団し、結団式を開催した。

本所で開催した結団式では、開会にあたり岩田清正組合長が「農業・農協を深く理解していただくことを目的として実施しており、現在まで106名の方々に農業・農協の理解者となっていた。農協のことだけでなく、農業の実態や大きな施設の必要性などを学んでいただき、第5回で行うグループワークでは感想や農業への希望など伺いたい」と挨拶した。



結団式後、青果部青果課の川本雄太課長が講師となり家庭菜園講習会を実施した。

家庭菜園を行っている参加者も多く、多年草のニラやアスパラガスを栽培されている方から長期的な栽培管理についての質問もあり、川本課長から野菜づくりの基本は土づくりであることが伝えられた。

参加した団員は「家庭菜園は夫に任せっきりですが、説明内容と合っている部分も多く安心しました。2回目以降も楽しみです」と話した。今後は、選果場等見学のほか、スターチス収穫体験やそば打ち体験などを実施する予定。

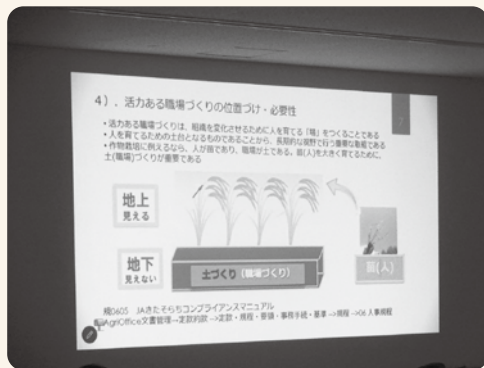
【人事課 墓田】



JAきたそらち役職員 向けコンプライアンス 研修会の開催

全役職員を対象とした「コンプライアンス研修会」を開催した。同研修会は役職員のコンプライアンス意識の高揚と社会情勢の変化に対応するために、毎年開催している。

同研修会では、梅村大輔総務経理課長がコンプライアンスの概要、独占禁止法・下請法・物流特殊指定、マネロン対策の取組、サイバーセキュリティ対策、SNSの取扱に係る注意点について説明を行った。



統括として梅村課長が、「コンプライアンスの遵守を通じて、組合員や地域社会との信頼関係を構築するべく、学んだことを明日からの行動に移すことが大事だ」と締めくくった。

【総務経理課 畠山】

深川支所年金友の会 パークゴルフ大会開催

石狩緑地パークゴルフ場で、きたそらち農協深川支所年金友の会（佐藤克之会長）のパークゴルフ大会が開催され、23人が参加した。

前年と同じく2コース18ホールを2ラウンド行った合計スコアで順位を競い、日頃の練習の成果を発揮しようと白熱の戦いを繰り広げていた。



また、ラウンド終了後も、参加者の皆さんは近況などを語り合いながら盛り上がりつつある様子で、有意義な時間を過ごしていた。

男性の部は木谷義治さんが、女性の部は定岡里代子さんが優勝また、佐藤克之さんと佐々木博章さんが見事ホールインワンを決めた。

上位入賞者は左の表の通り。

	男性	女性
優勝	木谷 義治	定岡里代子
準優勝	佐藤 克之	村田 信子
1位	坂口 三男	合田 利子
2位	酒井 孝雄	伊賀 靖子
3位	佐々木博章	藤井キサ子

【金融共済深川支所 山田】





女性部だより

6/25

女性部研修 スマート農業と 食の魅力を学ぶ

JAきたそらち女性部は、第21回合同日帰り研修会を北広島市で実施し、部員26人が参加した。

北広島市のホクレンくるるの杜では、ハスカップの収穫体験とアイスクリーム作りを行った。収穫したハスカップをその場で味わい、生ならではの爽やかな酸味を体感。アイスクリーム作りでは、塩と氷を使って材料を冷やし、タオルで包んだ容器を二人一組で回して完成させた。苦労して作ったアイスクリームは、「あっさりとした味わいでとても美味しい」と好評だった。



同市のクボタアグリフロントでは、農業経営シミュレーションゲーム「アグリクエスト」を体験した。参加者はチームに分かれ、栽培する作物や



栽培方法、販売先を選択しながら経営を進めた。ゲームでは、天候不順などの予期せぬ出来事が発生するほか、人材育成や社会貢献などへの投資も自ら判断し、経営戦略の重要性を学んだ。また、施設内ではアスパラガスなどの栽培施設、自動防除ロボットなどスマート農業技術を見学し、農業の省力化や持続可能な農業への理解を深めた。

参加者は、体験を通して農業の魅力やスマート農業の可能性を学ぶとともに、部員同士の交流を深め、有意義な研修となった。

【営農企画課 高桑】

6/22

女性部幌加内支部

「花の寄せ植え講習会」を実施

女性部幌加内支部は、花の寄せ植え講習会を開催し、部員13人が参加した。講師には（株）花Pitの平間尚氏をお招きし、花の組み合わせ方や管理方法についてわかりやすくご指導いただいた。



参加した部員の皆さんはそれぞれ好みの花を選び、彩りのある寄せ植えづくりに挑戦しており、鉢の中で花の高さや色合いのバランスを考え、終始楽しみながら作業を進めている様子が見られた。参加者からは「平間講師のご指導の下、彩り豊かで個性あふれる作品を作ることができた」といった声が聞かれ有意義な時間となった。

【幌加内支所 宮田】



JAきたそらち野球部

第67回空知管内JA野球大会



6/29
~6/30

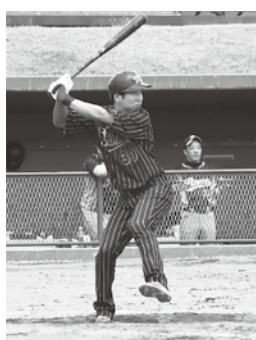
空知管内JA野球大会 2年ぶり6度目の優勝



JAきたそらち野球部は、6月29日と30日に長沼町運動広場野球場で開催された「第67回空知管内JA野球大会」に出場し2年ぶり6度目の優勝を果たした。

初戦は、JAピンネと対戦し、2回表に長場（販売部農産課）が先制の適時二塁打を放つと、相手のエラーや押し出し四球なども絡み3回表、6回表にもそれぞれ得点。7回を投げ切った佐々木（販売部米穀課）の粘りの投球もあり、3対1で勝利した。

準決勝はJA北いぶきとの対戦となった。4回裏、5回裏にエラーや暴投などのミスで2点を先取され、6回表に1点返すもその裏に安打で追加点を許してしまう。しかし、最終回の攻撃で佐々木の適時打と稲田（販売部畜産課）の2ランホームランで逆転し、6回裏からピッチャーを務めていた長場が締め、5対3で勝利。



決勝戦の相手は昨年準決勝で敗れたJAいわみざわと対戦した。1回裏の攻撃で堀口（金融共済部融資課）がレフトへ適時打を放ち先制すると、続く2回裏にも辻（深川支所営農課）の適時打と相手投手の暴投で2点を追加し点差を離したが、3回表にピッチャーの佐々木が連打を浴び、1点差まで詰め寄られる。4回からは長場が継投し、四球など許しながらも0点に抑えていく。応えるように7回裏に佐々木がホームランを放つと、その後も見事に守り切り4対2で勝利し、優勝を飾った。

表彰式では、勝利監督賞を辻、最優秀選手賞を佐々木が受賞した。同部は空知管内を代表して8月25日から26日に江別市野幌で開催される全道大会に出場する。

社労士の一球入魂

～耕す法と農業者への送りバント～

第4回

「農作業を楽しむ機械」と

助成金の話

社会保険労務士法人ホームラン
代表社員 社会保険労務士



阿部 秀樹

2005年12月、札幌市中央区で「社会保険労務士法人 ホームラン」を開業。「みんなに喜ばれるいい会社になろう」を経営理念に現在約300件の顧問先の労務相談・助成金代行・401K・給与計算・社会保険手続き・就業規則作成・研修・いい会社研究会などを担っている。



TikTok 配信中

ホームラン社労士 アベ先生
@homerunabe

こんにちは。社会保険労務士法人ホームランの阿部です。

農業の現場で、「一番大変な作業は何ですか」と聞くと、草刈り、運搬、収穫作業など、身体に負担のかかる作業を挙げる方が多いのではないのでしょうか。特に草刈りは、暑い時期の作業となることも多く、腰への負担、転倒の危険、熱中症のリスクもあります。農業にとって必要な作業である一方、年齢を重ねるほど「昔のようにはいかない」と感じる場面も増えてくると思います。

そこで近年注目されているのが、農作業を楽しむ機械の導入です。たとえば、自走式の草刈機、ラジコン草刈機、運搬車、アシストスーツなどがあります。100万円前後の機械でも、作業時間の短縮や身体的負担の軽減につながるものは少なくありません。

こうした機械は、単なる「便利な道具」ではありません。私は、働く人を守るための設備投資だと考えています。草刈り中の転倒を防ぐ、重い荷物を運ぶ回数を減らす、炎天下での作業時間を短くする。これらは、労災事故の予防や、長く働ける環境づくりにつながります。

ただ、機械を導入したいと思っても、費用面が大きなハードルになることがあります。そこで活用を検討したいのが助成金です。たとえば、事業場内の最低賃金を引き上げ、生産性向上につながる機械設備を導入する場合には、「業務改善助成金」などの対象となる可能性があります。

もちろん、助成金は「機械を買えば必ずもらえる」というものではありません。事前の計画、賃金の引上げ、対象となる設備かどうかの確認、申請手

続きなどが必要です。そして、ここで重要になるのが日頃の労務管理です。

就業規則が整備されているか。雇用契約書はきちんと交付されているか。勤怠管理や賃金台帳は正しく作成されているか。最低賃金を下回っていないか。こうした基本的な部分が整っていないければ、せっかく良い機械を導入しようとしても、助成金の活用が難しくなる場合があります。

逆に言えば、就業規則を整え、労務管理をしっかり行っておくことで、いざ設備投資をしたときに助成金を活用できる可能性が広がります。農作業を楽しむ機械の導入は、作業効率を上げるだけでなく、人手不足対策、安全対策、そして次の世代へ農業をつなぐための一手にもなります。

野球でいえば、良い道具を使うだけでは勝てません。日々の練習、チーム

のルール、選手の体調管理があつてこそ、道具の力が発揮されます。農業経営も同じです。機械という「道具」と、就業規則・労務管理という「守備固め」を組み合わせることで、より強い経営につながっていきます。

「この機械は助成金の対象になるのか」「就業規則を整えたい」「賃金管理に不安がある」など、気になることがあれば、早めに専門家へ相談することをおすすめします。

農作業を楽しむ、働く人を守り、経営を前に進める。その一球を、助成金と労務管理で後押しできればと思います。



JA職員 農作業実習報告 第1回

当JAでは、人財育成プログラムの一環として、入組2年目の若年職員を対象とした農作業実習を実施いたしました。近年、農家子弟以外の新規採用職員も増え、農業に対する接点も乏しいことから、農業体験を増やすこと、さらに組合員の想いを直接職員へ伝えていただくことを目的に、JA非常勤役員宅にて実習をさせていただきました。受け入れていただきありがとうございました。

①実習先	②実習期間	③作業内容	④感想
青果部青果課 衣川 馨竣 (令和7年4月入組)			
①深川支所イチヤン地区 松田直人 地区理事		②令和8年5月18日～5月23日	
③田植え作業 (田植え機補助、苗渡し)、牛舎作業 (牧草給餌、清掃)			
④一已地区の松田理事宅で農作業実習を行い、田植え作業では田植機の補助として苗補給や植付け確認を行いました。祖父の家で経験したことがありましたが、農家ごとに作業方法が異なることを学びました。また、自動運転の田植機を実際に見ることができ、農業技術の進化を強く感じました。 後半は牛舎作業に従事し、牧草の給餌や清掃、床替えなど体力を要する作業を経験しました。短い期間ではありましたが、組合員の皆様が日々どれほどの労力をかけて営農されているかを間近で知る貴重な機会となりました。 今回の実習を通じて、消費者の食を支えるために組合員の方々が日々どれほどの苦労をされているかを改めて認識しました。「いただきます」「ごちそうさまでした」という言葉の重みを再確認し、農業と向き合う姿勢を忘れずに今後の業務に活かしていきたいと感じています。松田理事、ご家族の皆様、松田ファームの従業員の皆様には、作業要領を丁寧に教えていただき、6日間を通して楽しく学ぶことができました。この場を借りて心より感謝申し上げます。			
			
農業振興部営農企画課 坪 隼人士 (令和7年7月入組)			
①深川支所音江地区 佐々木伸介 地区代表理事		②令和8年7月13日～7月17日	
③きゅうり収穫、間引き、葉取り作業			
④音江地区の佐々木地区代表理事宅で農作業実習を行いました。実習中は、ハウス内の気温が高く、暑さと立ち作業で改めてハウス作業の大変さを身をもって実感しました。 一方で、ハネ品の判定基準が非常に厳しいことを初めて知り、見た目の傷や変形だけで流通できない現実に驚きました。こうした規格外品を廃棄するだけでなく、有効活用する方法を考える必要性を強く感じました。また、小さなハネ品は一本あたり数円にしかないことにも驚きましたが、道の駅では4本セットにして販売するなど、無駄にしない工夫がされていることが印象に残りました。 慣れない作業で大変な部分もありましたが、佐々木地区代表理事並びにパートの方々の丁寧なご指導、サポートをいただきながら収穫作業などをスムーズに終えることができました。短い期間ではありましたが、農業の現場で働く楽しさを改めて実感することができ、有意義な一週間となりました。心より感謝申し上げます。			
			

味覚障害とは

医療法人社団 本間クリニック 院長 本間

裕



味覚は、口中の感覚ではありません。舌の表面には、「味蕾（みらい）」と呼ばれる器官が存在します。唾液に溶けた味覚分子が、味蕾の「味細胞」に触れると神経活動に変換され、神経を通じ脳へ伝達されます。その情報が、脳の味覚中枢で、「美味しい」「苦い」といった感覚として主観的に認識される、非常に原始的かつ高次な感覚です。

味覚は、甘味・塩味・酸味・苦味・うま味の「5つの基本味」からなります。甘味やうま味はエネルギー源やタンパク質の摂取を促し、酸味や苦味は腐敗物や毒物を回避する警告となります。味覚の不具合である「味覚障害」は、生物の防御反応や栄養摂取のバランスを損なう原因となります。

味覚障害の症状の主なもの、味覚減退（味が「薄く感じる」状態）、味覚消失（味がなくなる状態）です。その背景には、数多くの複雑な要因があります。

味覚障害の主要な原因として亜鉛欠乏があります。味蕾細胞は、約2週間のサイクルで新しい細胞へ更新されます。この更新に必要なミネラルが「亜鉛」です。偏食や過度なダイエットなどによって体内の亜鉛が不足すると、味細胞が更新されず劣化し、味覚障害が起きます。鉄欠乏性貧血に伴う「舌炎」では、舌の表面が赤くつるつるになり、味蕾自体が萎縮してしまうことも知られています。

近年高齢者を中心に増えているのが、常用薬の副作用です。体内の亜鉛を体外へ排出させてしまう作用がある薬剤は、その結果として亜鉛欠乏状態を起こし、味覚に異常が出ます。

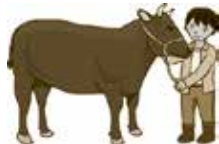
唾液は、味覚分子を味蕾へと導く媒体です。加齢やストレスなどによって唾液分泌が低下すると、口内が乾燥し味を感じにくくなります。唾液分泌を低下させる薬剤はこれを促進します。また、薬剤そのものが味蕾を傷つける場合もあります。

味覚障害を放置すると深刻な健康被害に至る可能性があります。味が薄く、あるいは感じないために醤油や塩を多量摂取することになり、高血圧や糖尿病などの生活習慣病の急速な悪化の原因となります。何を食べても美味しく感じられないので食欲が減退し、低栄養や体重減少を招き、高齢者の場合はフレイル（虚弱状態）が進行することもあります。

味覚障害の予防と改善の基本は食生活の見直しです。亜鉛を含む食材（カキ、レバー、赤身肉など）を多めに摂取することが推奨されます。亜鉛の吸収を高めるビタミンCや動物性タンパク質を多めに取り、逆に亜鉛の吸収を妨げるインスチント食品や炭水化物の菓子を控えることも有効です。口腔乾燥を防ぐための水分補給や、唾液腺をマッサージして唾液の分泌を促すことも効果的です。

医療機関では、血液検査で亜鉛不足や貧血の有無を調べ、亜鉛欠乏があれば「亜鉛含有製剤」の内服治療が行われます。薬剤が原因である場合は、主治医と相談の上で代替薬への変更を検討します。味覚の違和感を覚えたら、耳鼻咽喉科を受診すると、健康な身体を守ることにつながるかもしれません。

開催日
6/10～6/11
市場成績



品種	性別	区分	市場全体		きたそらち農協	
			本年6月実績	前年同月実績	本年6月実績	前年同月実績
和牛	去勢	出場頭数	886	942	17	27
		平均価格	895,998	747,471	817,235	675,274
	めす	出場頭数	694	711	49	26
		平均価格	793,770	595,540	751,861	548,975
交雑	去勢	出場頭数	70	107	0	0
		平均価格	478,249	352,338	0	0
	めす	出場頭数	275	305	99	121
		平均価格	445,080	336,439	433,744	340,636

【平均価格は円・税込価格】



青年部深川支部・雨竜支部のインスタはこちら！



JA.YOUTH_FUKAGAWA



URYU_SEINENB



青年部での活動、日々の農作業の様子などを青年部員が投稿しています♪
ぜひ、フォローしてチェックしてみてください！

七月俳句

●雨竜俳句会

この土地に慣れて生き行く韭の花
蒼天をついて雲雀は高く鳴き
紫陽花や自然と咲いた屋敷跡
コーヒーの香り吸い込み雨休み
汗かいて力一杯応援歌

北川 満江
佐々木 待子
松木 五月
宮武 めぐみ
吉見 サヨ子

●「道」俳句会 北竜支部

赤レンガ映る雀の水遊び
点在の句碑夏草に正座せり
滑らかな峠越えれば青田風
里帰りのろけも愚痴も夏座敷
緑濃し句碑の森へと細き路
先師の碑友の碑森の風灼くる

山岸 正俊
吉尾 広子
山下 好晴
佐藤 美智子
南 秀幸
阿部 れい子

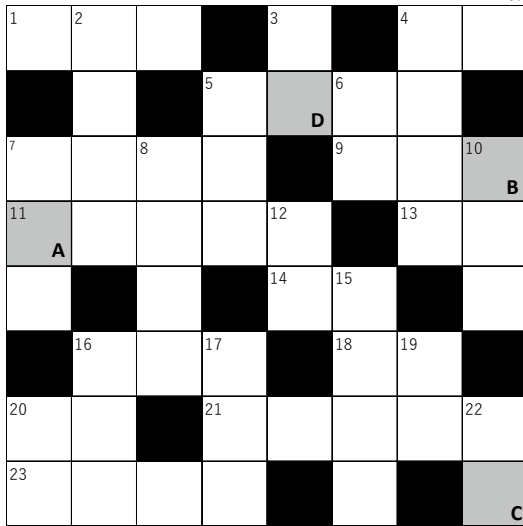
●土筆俳句会

青葉風足萎初めし杖の径
扇風機自分の方へ向けし父
退院の近き昼風呂髪洗ふ
学校祭青の暴れしキャンパスに
夏深しマイケルの声なお響く
青葉風日曜午後の子らの声
仕付け系昭和のままの藍浴衣
店先に始めましたとかき氷
残す蔓どれにと迷う南瓜苗

高尾 美津子
池田 美知
南川 富美子
佐藤 英三子
滝口 富美子
菅原 優子
森田 裕美子
沼田 留美子
小橋 厚子

クロスワードクイズ

提供元:クロスワード.jp



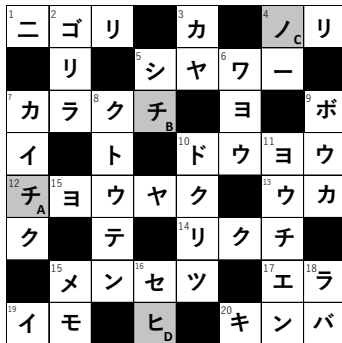
A	B	C	D
---	---	---	---

【タテのカギ】

- 尿酸が血中に増加し、結晶となって関節や腎臓などに沈着する病気。風が当たっただけで痛むほど痛い。
- 日本古来の製法による手すきの紙。
- 約束や予定なしにその場で急に参加すること。また、その人。
- 幼児語で歩くこと。
- 中が空になっている細長い円筒。パイプ。チューブ。
- 整数のうち、二で割り切れない数。1、3、5、7など。
- 磁石の磁極の間にはたらく力。
- 図を用いて説明すること。また、その書物。
- より高い所。
- 他人の子どもを預かり、親代わりになって育てる人。
- 英語の後ろのこと。後ろに戻ること。逆戻り。帰ってくる。
- 引き受けること。金銭や責任、仕事の重荷。
- 書かれた文字。書いてまとめた物。書物。
- 土を細長く掘って、水を通す場所。細長くくぼみ。
- 当然しなければならない務め。〇〇教育。

【ヨコのカギ】

- かみの毛に似せて、頭に付ける物。
- 過去から、現在、未来へと切れ目なく一定の速さで流れていくもの。時間。
- 足のくるぶしの上の少し細くなったところ。
- 高貴な身分の女性。
- 納豆・豆腐・枝豆の材料となる、比較的大きな豆。
- 数と量。また、数で表した量。
- 自然界のものについて学ぶ教科。
- 動物を飼ったり、とらえたりするために使う食べ物。
- 鎌倉・室町・江戸の三代にわたる、武家政権の政庁や機構。
- 一月一日から十二月三十一日までの期間。年齢。高齢。
- 植物が出す、あまいしる。
- 頭を水面上に出し、身体を立てた姿勢で泳ぐこと。
- 論文・小説・映画などで、前の編に続く編。



6月号の答え 「チチノヒ」

深川市 田中浩太郎 様
深川市 今出由紀子 様
北竜町 小林 俊哉 様
が選ばれました。

・・・ 応募締切 8月31日(消印有効) ・・・

応募方法

ハガキ・FAX・ホームページ応募フォームに、
①クイズの答え ②住所、氏名、年齢
③身近な出来事 ④農協だよりに対するご意見ご感想
を記入の上ご応募下さい。当選者は10月号に掲載します。

宛先

〒074-0015
深川市深川町字メム10号線山3線5850番地
JAきたそらち 農業振興部営農企画課
FAXの場合は 0164-22-1228
ホームページはこちらのQRコードから



※ハガキで応募は、85円分のハガキ、切手をご使用ください。
ご本人以外による応募は抽選外とさせていただきます。

正解者の中から抽選で3名様に
「農協全国商品券」をプレゼント



組合員の動き

(令和8年6月末日)

		当期首	加入	脱退	当月末
正組合員	個人	1,136	7	26	1,117
	団体	120	4	0	124
准組合員	個人	5,217	34	38	5,213
	団体	248	2	0	250
正組合員戸数		801	3	16	788



JAきたそらち太陽光発電所 発電実績

〇令和8年6月実績

発電電力 **63,756kWh**

計画対比 +13,685kWh

前年対比 +6,875kWh

売電金額 **2,550,240円 (40円/kWh)**

〇累計 (R7.12~R8.6)

発電電力 **298,264kWh**

計画対比 +66,403kWh / 前年対比 +42,947kWh



第7回理事会〈令和8年6月26日開催〉以下の事項について決議・承認されました

1. 関係団体等諸会議について
2. 内部監査報告について
3. 組合員の加入脱退について
4. 財務報告及び事業実績について
5. 固定資産およびリース資産の取得について
6. 令和8年度上半期決算実地棚卸 理事並びに監事立会について
7. 令和8年度固定資産監査の実施について
8. JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」について
9. 第8次農協経営計画に基づく役職員出資増口について
10. 職員の人事及び業務事故について
11. 北海道農協検査の実施について
12. 貸出金の貸付報告について
13. 令和8年産米「生産の目安」の取組状況について

議案第1号 令和8年度第1四半期随時監査の結果について

議案第2号 クミカン貸越極度額の変更について

議案第3号 貸出金の貸付について

議案第1号 役員の道内研修の実施について

14. 地域農業の未来を考える勉強会開催について
15. 令和8年度 主要農作物の生育状況（6月15日）について
16. 令和8年産 米出荷契約、集荷販売計画について
17. 令和8年産 小麦の集荷について
18. 令和8年産 畑作物作付状況について
19. 令和8年産 玄そば出荷契約数量について
20. 令和7年産 屑大豆精算について
21. 令和8年度 畜産物の販売実績（5月末）について
22. 令和8年度 青果・花き集荷販売実績について
23. 令和8年度 温床資材予約奨励金の支払いについて
24. JA肥料価格の設定について
25. 令和9年度用 肥料及び温床資材予約推進について
26. 経済部事業実績について

議案第4号 令和8年度系統外販売取引先の選定について

議案第5号 令和8年度系統外販売取引先の選定について



（左：北光保育園、右：音江中央保育園）



葉っぱがぐんぐんのびて、おこめのあかちゃんが出てきた！

おこめのあかちゃん、こんな姿をしてるんだね！

このあと、どんな姿になっていくのかな？

7がつ7にち（か）
バケツ稲レポート

金融共済部からのお知らせ

ご存知ですか!?

がん患者のうち、80%以上の人が薬物療法を受けています!

※1 東京都福祉保健局「東京都がん医療に係る実態調査結果(がん患者の就労等に関する実態調査)(平成31年3月)」をもとにJA共済連試算 ※2 薬物療法は、抗がん剤療法およびホルモン剤療法を指します。



JAのがん共済なら!

幅広い保障範囲



※1 入院およびこれらの治療を以下「所定のがん治療」といいます。手術、放射線治療、抗がん剤治療、ホルモン剤治療およびがん性疼痛等の緩和のための在宅医療については、公的医療保険制度に基づく所定のがん治療が対象です。 ※2 先進医療保障ありを選択した場合

〈契約例〉

- ・払込期間:99歳払込終了
- ・共済期間:終身
- ・がん治療月額共済金額:10万円
- ・がん診断共済金額:100万円(がん治療一時金:50万円)
- ・がん診断時共済掛金払込免除特則:有
- ・先進医療:有

〈共済掛金例〉

- ※口座振替扱い
- ※2026年4月時点

男性		加入年齢	女性	
年払	月払		年払	月払
32,309円	2,695円	20歳	33,903円	2,825円
42,629円	3,575円	30歳	43,687円	3,655円
58,302円	4,915円	40歳	54,611円	4,595円
83,531円	7,065円	50歳	64,420円	5,435円

▼ご加入

不担保期間(90日)

〈がん治療月額共済金〉所定のがん治療を受けたとき:1か月あたり10万円

NEW! 入院、手術に加え薬物療法にも幅広く対応!

〈がん診断共済金〉初めてがんと診断されたとき:100万円

〈がん治療一時金〉がん再発時や長期治療のとき:50万円(がん診断共済金額×50%)

がんによる先進治療を受けたとき

〈がん先進医療共済金〉

1回あたり先進医療にかかる技術料に応じて定める額(通算限度額2,000万円)

〈がん先進医療一時金〉

1回あたりがん先進医療共済金の額×10%(上限30万円)

NEW! 令和7年4月からパワーアップ

〈がん診断時共済金払込免除特則〉

初めてがんと診断されたとき:以降の共済掛金はいただきません

所定の後遺障害等になったとき:以降の共済掛金はいただきません

一生涯保障

共済金受取イメージ



がん診断以降の掛金払込は不要!!

※この共済には、死亡時における保障はありません。※この共済において対象となる「がん」は、悪性新生物(上皮内新生物を含む)および脳腫瘍です。〔「がん」保障のある共済種類共通〕※がんに関する責任(保障)の開始は、ご契約日からその日を含めて91日目からとなります。これより前に被共済者が悪性新生物または脳腫瘍と診断確定された場合には、共済金はお支払いいたしません。また、がん診断時共済金払込免除特則が付加されている場合におけるがん診断による共済掛金の払込免除はありません。※所定の後遺障害等の状態による共済掛金の払込免除についてはご契約日から保障いたします。※がん診断時共済金払込免除特則による共済掛金の払込免除については、ご契約日からその日を含めて91日目から責任(保障)を開始いたします。※がん治療月額共済金は入院および公的医療保険制度に基づく所定のがん治療を保障します。(月に1回を限度)※がん診断共済金は共済期間を通じて1回のみ支払われます。※がん治療一時金はがん診断共済金または前回のがん治療一時金の支払事由に該当した日からその日を含めて1年を経過した日以後、所定のがん治療を受けた場合にお支払いします(1年に1回を限度)。※先進医療とは、療養を受けた時点において厚生労働大臣が定める先進医療をいいます(一定の施設基準があります)。※がん先進医療共済金の額は、先進医療の技術料が1万円以上の場合技術料の額、1万円未満の場合は一律1万円となります。※がん先進医療共済金の額の10%に相当する額(上限30万円)となります。※この共済には、解約時の返戻金はありません。※この資料は概要を説明したものです。詳細につきましては「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」により必ずご確認ください。



お問い合わせ先

JAきたそらち
共済センター TEL 0164-34-7151

伊予本所 TEL 0164-22-6619 多度志支所 TEL 0164-27-2111
音江支所 TEL 0164-25-1111 雨竜支所 TEL 0125-77-2331
深川支所 TEL 0164-22-2171 北竜支所 TEL 0164-34-2280
納内支所 TEL 0164-24-2211 幌加内支所 TEL 0165-35-2025

応募はこちら



[26019990017]